

(幼稚園)

# 幼児が楽しく描画表現活動をするための援助の工夫

—いろいろな技法遊びを通して—



浦添市立教育研究所 教育研究員

浦添市立浦添幼稚園 城間 安子

## 目次

【要約】	
I テーマ設定の理由	1
II 目ざす子ども像	
III 研究の目標	
IV 研究仮説	2
1 基本仮説	
2 作業仮説	
V 研究構想図	
VI 研究内容	3
1 造形表現の特質	
2 造形表現能力の発達段階	
3 技法遊びの種類と期待できる幼児の姿	4
VII 指導の実際	6
1 学級の実態	
2 保育実践計画	
3 保育実践	8
(1) 身近な素材を利用した技法遊び	
(2) 身近な素材と教材の組み合わせ	10
(3) グループでの取り組み	12
VIII 研究の成果と課題	16
1 成果	
2 課題	
【おわりに】	
【主な引用・参考文献】	

# 幼児が楽しく描画表現活動をするための援助の工夫

－いろいろな技法遊びを通して－

浦添市立浦添幼稚園 城間 安子

## 【要約】

絵を描くことの苦手な子が抵抗なくかかわられるように、また子ども一人一人が喜んで描画活動ができることを目指し、子どもの発達に応じた、様々な技法遊びを計画的に取り入れ実践をしてきた。実践では、身近にある素材を絵に取り入れたり、教材を組み合わせ工夫することで、素材のおもしろさに関心が高まり楽しく描画活動に取り組むことができた。

## キーワード

□技法遊び □デカルコマニー □スタンプング □はじき絵

### I テーマ設定の理由

現在の幼児をとりまく生活環境は、テレビやビデオなどの情報が氾濫し、一方的に流され受け身になっている。このような環境で育った幼児は、主体的に何かをしようとする意欲が低下している。幼児の主体性を取り戻し、本来の姿をひきだすためには、素材や材料用具の取り組み、動物や植物、自然との交流を日常の生活で、あそびを通じた活動を中心として展開することが重要であり、幼児の表現指導の上で大切だと言われている。

幼稚園教育要領「表現」の内容は「かいたり、つくったりすることを楽しみ、遊びに使ったり、飾ったりする。」と示されている。幼児は、様々な生活を通して感じる、考えること、イメージを広げることなどの経験を重ね、感性と表現する力を豊かにしていく。また幼児は生活の中で体験したことや思ったことをかいたり、つくったりして遊んでいる。教師はそれぞれの遊びの中で、幼児の気持ちをとらえ、必要な素材や用具を準備したり、援助したりしながら、表現意欲を満足させ表現する喜びを十分味わわせることが重要であると明示されている。

子どもは、園生活の中で、粘土や折り紙、空き箱、廃品などを利用して、製作遊びをしたり、友達同士で話しをしながら、楽しそうに絵を描いて

遊んでいる。しかし、テーマの決まった描画活動になると、すぐに描き始める子がいる反面、なかなか描き出せない子、何を描いていいのか分からない子、何度も画用紙を取り替える子などの姿がみられた。絵の描けない理由は「子ども自身が生活の中で絵を描く経験が少い」「イメージをうまく表出できない」「教師が子どもの描画能力を考慮せずに技術先行になっていた」「見通しをもった活動経験をさせていなかった」こと等があげられる。そこで子ども一人一人の描画表現能力の発達を把握し、適切な援助を心がけ、活動の中にいろいろな技法遊びを取り入れることによって子どもが楽しく描画に取り組んでいけると考え本テーマを設定した。

### II 目指す子ども像

自分なりの表現を楽しみ、喜んで描画活動に取り組める子

### III 研究の目標

幼児が、楽しく描画活動を行うことができる技法遊びの実践研究

#### IV 研究の仮説

##### 1 基本仮説

幼児の興味関心を促すような、技法遊びを経験させることによって、自分なりに表現を楽しみ、喜んで活動に取り組むであろう。

##### 2 作業仮説

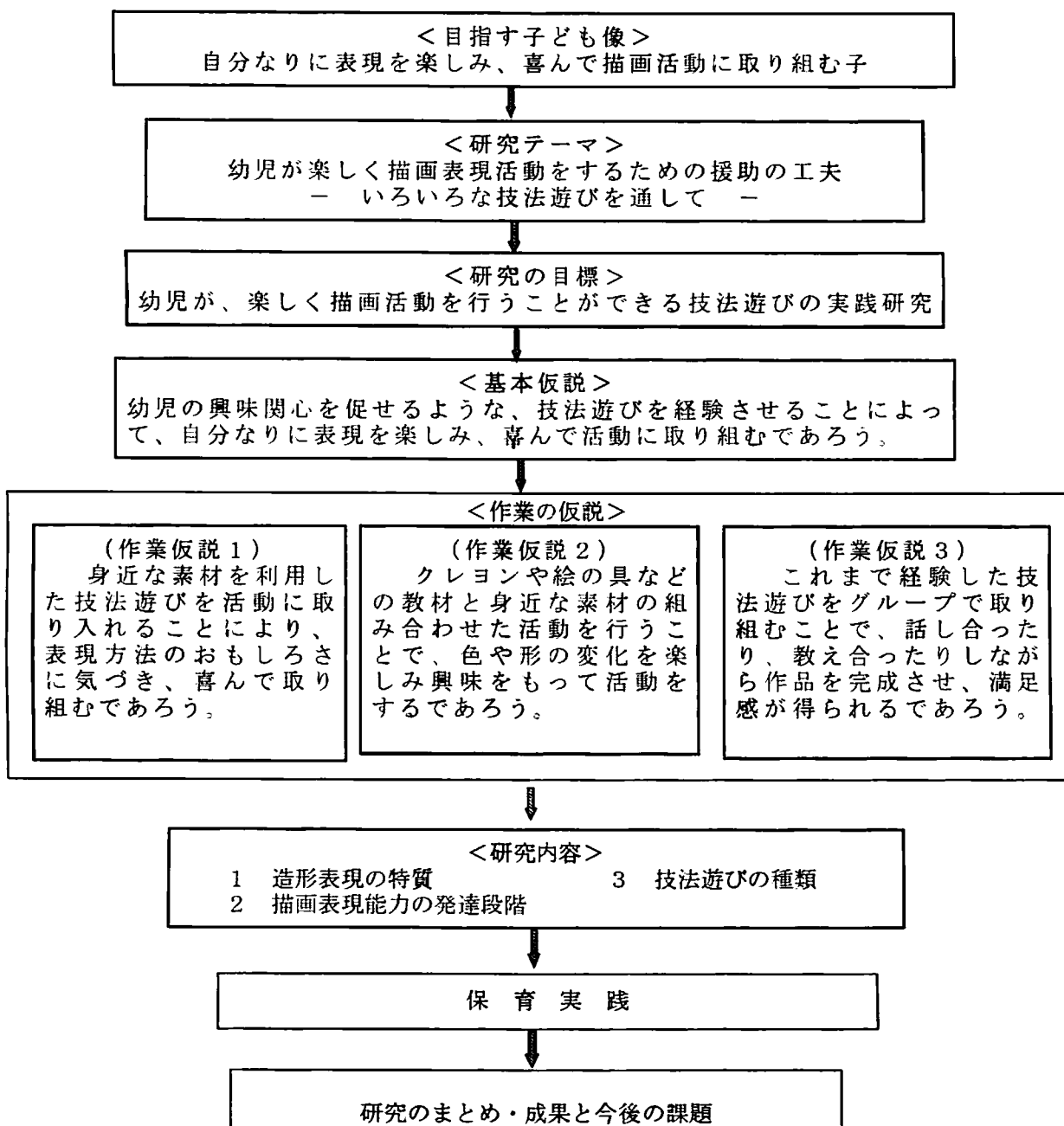
(1) 身近な素材を利用した技法遊びを活動に取り入れることにより、表現方法のおもしろさに気づき、喜んで取り組むであろう。

に気づき、喜んで取り組むであろう

(2) クレヨンや絵の具などの教材と身近な素材を組み合わせた活動を行うことで、色や形の変化を楽しみ興味をもって活動するであろう。

(3) これまで経験した技法遊びをグループで取り組むことで、話し合ったり、教え合ったりしながら作品を完成させ、満足感が得られるであろう。

#### V 研究構想図



## VI 研究内容

### 1 造形表現の特質

#### (1) 表現の分類

『幼稚園教育要領』の「表現」から次の3つを表現の手段・方法としてとりあげることとする。

##### ① 音楽的な表現

簡単な・単純な・記号的な音による表現

##### ② 造形的な表現

素材（教材）を用いて、形になるものとして表現

##### ③ 身体的な表現

動作・身振りなどによって、人間は意志 や感情を表現する。

#### (2) 表現の特質



紙・土・木などの、自然物や人工などさまざまな物質的な素材（材料）を用いて、鉛筆・クレヨン・絵の具・はさみ・のりなどの用具を使って表現する。造形表現は眼で見ることができる、これが大きな特質である。

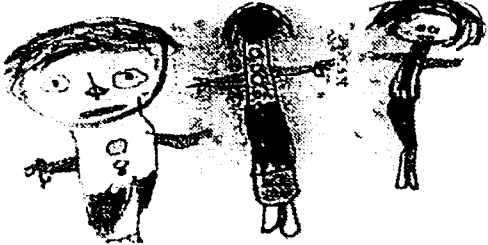
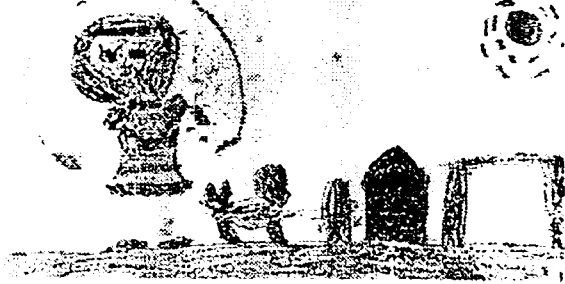
造形とは、文字が示すように形を作るものではあるが、形には立体形もあれば平面形もある、従って製作のような立体的なものはもちろんのこと、絵のような平面的なものも造形の中にはいる。

### 2 造形表現能力の発達段階

絵を描いたり、物を作ったりする造形表現の活動においては、子どもが頭の中で考えて表現しようとする内容が、子どものもっている表現の方法とか手段によって外に表される活動である。造形表現活動においては、子どものもっている精神的、知的な発達や身体的な成長等の発達段階をよくみつめることが重要である。

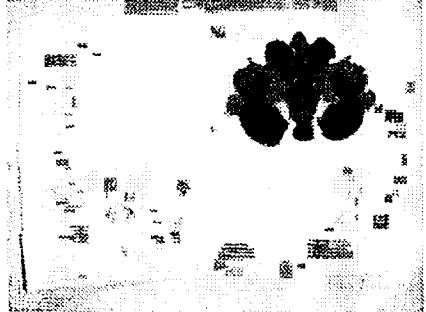

#### ○ 造形表現能力の発達段階

1. なぐりがき期（錯覚期）	1～2歳
鉛筆やクレヨンなどを手にした幼児が気のおもむくままに、線を上下にあるいは左右に、あるいは円形に、内容的には意味をもたない絵である。しかし、成長にしたがって、色数も2色・3色と用いるようになり、次第に目的のある線描きへと、変化していく。	
2. 線描きによる象徴期	2～3歳
線だけで絵を描いて、面を色で塗ると言うことが見られない。よくわからない絵が多い、しかし描いた絵には理由がある。頭足人間を描く、子どもが成長するにつれて手や足の先に指をかくようになり、長四角の胴体を描き、性別で色を違えたりする	

<p>3 そのものらしく描く象徴期</p>	<p>3～5歳</p>
<p>子どもの表現しようとしていることが絵でわかるようになる。ものの大小、上下、遠近、ものともとののかかわりは関係なく、自分が表したい物が描かれている絵である。この時期からは、絵を描く表現の楽しさ・おもしろさをもつようになり、何枚も同じ絵を描いてみたり、得意とする絵を描くようになる。</p>	
<p>4. 図式期</p>	<p>5～9歳</p>
<p>図式期の「式」というのは、型とか形式といい、絵を描くとき人物・家・樹木・花・動物・太陽・空・雲の表し方が、子ども独特の描き方、表し方のタイプ（様式）になっている。いつも決まった形、色で描くことになり、シェーマ（図式）とよばれる。絵としては、幼児画の特徴がみられ子どもの表現意欲や内容がよく表されている。色数も、各種の色を使用するようになる。</p>	

(保育内容・造形表現の指導)より引用

3 技法遊びの種類と期待できる幼児の姿

技法遊びの種類	内容・方法	期待できる幼児の姿
<p>①デカルコマニー (あわせ絵)</p> 	<p>●つや紙や画用紙など二つに折って片方に絵の具をたらし押して広げる。使用する紙質、絵の具のうすめ方、圧のかけ方によって形が変化する。人間の手ではどうも表すことのできない、不思議な美しさをもっている。</p>	<p>・偶然にできる形や模様を見て、いろいろとイメージを膨らませたり、クレヨンで加筆をすることで模様に変化を楽しむ。</p>
<p>②よせあつめ絵 (モンタージュ)</p> 	<p>●写真や印刷物などを切り取り、別の紙にはり合わせて構成する絵</p>	<p>・絵の選択、ハサミで切り抜いていく作業を喜び、画用紙に貼り合わせることを楽しむ。</p>

③はじき絵 (バチック)



●画用紙に、クレヨンかバス、ローソクで絵や模様を描き、水彩絵の具や墨などを適度な濃さに溶き、筆でさっと塗る。絵の模様や描いたものが水をはじいて表れる様子が魅力的である。

・クレヨンの線描きの部分や背景などのを、絵の具を適度な濃さに溶き塗る。  
・クレヨンと絵の具の色の組み合わせを工夫する。

④こすりだし (フロッタージュ)



●木の葉を裏返しにし、上質紙をのせて手でこすり、葉脈を浮き上がらせ、クレヨンかバスで軽くこする。

・木の葉の特質 (堅さ・でこぼこ) やクレヨンのこすり方を理解すると、大小様々な葉っぱの組み合わせを楽しむ。

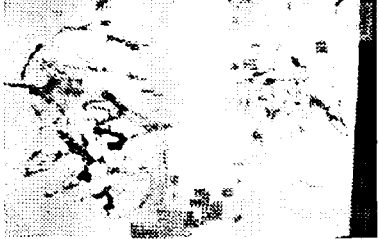
⑤にじみ絵



●画用紙の表面を水でぬらし、水が乾かないうちに絵の具をたらしたり、筆で描いたりすると、絵の具がぬらした水に沿って流れたり、広がったりしながら、おもしろい形やにじみができる。

・画用紙の上のにじみでた絵の具の色が広がっていく様子や模様を楽しむ。

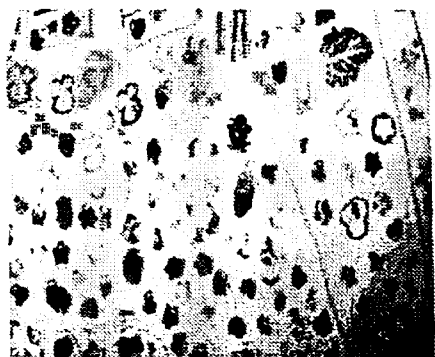
⑥吹き散らし



●画用紙に、水で溶いた水彩絵の具やポスターカラーをたらし、それを口で吹いて絵の具を散らす。

・いろいろな角度で吹いた絵の具の動きや色によってできた形を楽しむ。


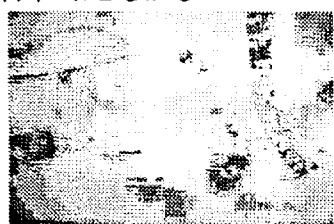
⑦スタンピング (型押し遊び)



●手、足型押し、葉っぱや積み木など実物型押し、はんこ押し  
手形押し



・野菜の切り株やニンジンの型抜きを利用して花畑にしたり、葉脈で自然な木の葉っぱを表現する。  
・意欲的にいろいろな素材を試したり工夫する。

<p>⑧ゆび絵 (フィンガーペインティング)</p> 	<p>●つるつるした紙を水でぬらして、その上にのり絵の具をおく。手のひらで紙の上をなでたり、指先でなでたりする。ひじや足につけてぬりたくってもよい。</p>	<p>・自分の表現したいことを何度も描き直せる開放感 (引っかく指の下から表れる線の動き) とぬるぬとした素材の感触や指先の感覚を楽しむ。</p>
<p>⑨ (ア) 糸絵 (イ) 糸引き絵 (ウ) 糸ころがし</p> 	<p>(ア) 絵の具をつけて両方に引いてはじく。  (イ) 二つ折りの画用紙において両方の糸先をひく。  (ウ) 鉛筆にまいて転がす。</p>	<p>・糸を引くタイミング、紙を押さえてひく作業が難しい。繰り返していくうちに面白い形が表れてくるのを楽しむ。</p>

## Ⅶ 指導の実際

### 1 学級の実態

本保育実践は絵を描くのに抵抗のある子をはじめ、一人一人の幼児が楽しく描画できることを目指しいろいろな技法遊びを取り入れ実践してきた。

本園の幼児はイメージをうまく表出できずなかなか描きだせない子、描き終えるのに時間を要する子などの姿がみられた。そこで技法遊びを取り入れ身近に使っている教材を生かし、幼児の興味をもつようなさまざまな素材に取り混ぜ、色や形で表現できるような活動の実践をすることで、描画に喜んで取り組むのではないかとと思われる。


### 2 保育実践計画

保育の計画では活動段階を「色の合わせ方・型押しのおもしろさに気づく」「いろいろな型押しを楽しむ」「みんなで力を合わせて絵を描こう」とし、身近な素材の利用の仕方を学びお互いに協力して作品を作りあげるように構成した。

- (1) 「色の合わせ方・型押しのおもしろさに気づく」段階、身近な素材・教材を取り入れた活動においては色の組み合わせや形のおもしろさに気づかせる。
- (2) 「いろいろな型押しを楽しむ」段階、描画した絵の背景などにいろいろな素材の型押しを楽しみ素材と絵の具の組み合わせを工夫する。
- (3) 「みんなで力を合わせて絵を描こう」段階、(1)と(2)の実践を生かし、グループの友達といっしょに、相談したりイメージをだし合い作品を仕上げる。このように活動段階を構成することで、幼児の興味を誘いイメージをふくらませて、楽しく描画活動に取り組んでいけるのではないかと考える。



表1 保育実践計画

段階	活動名	活動の内容	教師の援助
(1) 色の お合 もわ しせ ろ方 さ・ に型 気押 づし くの	①デカルコマニー (合わせ絵)	・画用紙の上に落とした絵の具を、 2つ折りにして合わせてできた絵の 具の自然の模様を作り出す。 ☆紙面にできた形の面白さに気づき 更に絵の具の落とし方を工夫する。 ☆何度も繰り返しやってみる。	・絵の具の落とす位置を変えたり、色 の組み合わせを考えさせる。
	②スタンプグ (型押し遊び) 木に葉っぱを使っ て 手型押し	☆木の葉っぱの葉脈のでこぼこの型 を紙に写す。 ☆葉っぱの置き方を工夫する。 ☆手型押しをしている子は、ペタペ タ押しと絵の具の感触を楽しむ。	・木の葉っぱを準備する。葉の裏側の でこぼこのはっきりしたものを選ばせ る。・葉の裏側(型押し)をする部分 にしっかり絵の具を塗らせる。 ・紙の上に置いてよく手で圧をかけさ せる
(2) いろ いろ な型 押し を楽 しむ	③遠足の絵を描く 1日目 「こどこの国」	☆自分の描きたいものをイメージし て描き始める子や友達の話を見て自 分なりのイメージをもつ。	・「こどもの国」へ行って1番楽しか ったことや印象にのこった動物の話し 合いをしイメージを持たせるようにす る。
	④遠足の絵の周り に型押しをする	☆仕上げた絵に自分の好きなように 型押しをする。  ☆木の葉や野菜ののスタンプを絵の 周りに工夫して押す。  ☆友達の子作品を見て、いろいろなス タンプに興味を持ち喜んで型押しを している。	・描けない子は、話し合いの中から描 きたいことを引き出し、どうしても描 き出せない時は、線描きをしてきっか けをつくる。 ・木の葉っぱ、いもニンジン、キャベ ツの芯の素材や、絵の具をしみこませ たスポンジを準備する。 ・木の葉などの型押しのおまかせ子 には援助をする。
(3) せみ てん 絵な をで 描力 こを 合わ	⑤グループで絵を 描く (男児と女児に分 ける) 好きな絵を描く	☆それぞれにアイディアをだし合い 切り抜いた絵や葉っぱを使い、クレ ヨン、マーカー組み合わせる。 ※葉っぱ・・・ こすりだした 葉っぱを切り 抜く   ・指・手形を使って型押しをする。	・2枚の大型画用紙に木を線描きして おく、前日に準備した「木の葉のこす りだし」を使って、男女それぞれの紙 に好きな絵を描かせる。 ・「葉っぱを貼る、木の幹に手形を押 す」作業から導入をする。 ・グループで工夫したところを認め る。

### 3 保育実践

#### (1) 身近な素材を利用した技法遊び（作業仮説1の実践）

作業仮説1 身近な素材を利用した、技法遊びを活動に取り入れることにより、表現方法のおもしろさに気づき、喜んで取り組むであろう。

#### ① 活動計画

11月6日	活動のねらい
○デカルコマニー	・ 絵の具を直接チューブから取り出して紙面の上に落とし圧をかけていろいろな色や模様を楽しむ。
○スタンプング (型押し)	・ 自然のおもしろさやペタペタと並べ方を考えずに押し遊ぶことを楽しむ。

#### ② 実践1「絵の具であそぼう」

ア 技法遊び デカルコマニー（合わせ絵）

イ ねらい 色の重なり合ったきれいさや形のおもしろさを楽しむ。

ウ 活動の展開

幼児の活動	教師の援助	子どもの姿
①画用紙を均等に2つ折りにする。	☆実践をしながら説明をして子ども達の興味をひく。	・ 説明に興味深く聞いている。
②2つ折りにした画用紙を開いて、片方に絵の具を落とす。	☆絵の具の落とす位置や圧の加え方に留意させる。 ☆絵の具の量に気づかせる。	・ 絵の具の落とす位置や量を考えずに置いてしまい、画用紙から絵の具がはみだしたりしている。
③画用紙を折り目から重ね合わせ、上から軽くなる。		・ 繰り返し活動していくうちに絵の具の置き方や形にも工夫がみられた。

エ 活動の様子

写真1 デカルコマニーを見せ合うK夫とS君



写真2 やり方を友達に説明するK夫



できあがった模様がロボットのような形になったことやいろいろな絵の具を混ぜ合わせて、お面の形に変わった作品を見せ合う姿がみられた。

作品がきれいに仕上がったので友達に「よくこするんだよ」とやり方を教える姿がみられ、楽しく取り組んでいた。

オ 考察

絵の具の量に気づかせることは難しかったが、活動を意欲的に取りくむ子ども達の姿を見守りながら援助をした。デカルコマニーは、絵の具の落とした位置や混ざり具合で表われる色や形のおもしろさが、子ども達の興味を誘い、繰り返し活動に取り組んでいた。

③ 実践2「自然の素材を使ってあそぼう」

ア ねらい 葉っぱの葉脈の、でこぼこで型押しをしてあそぶ。

イ 技法遊び スタンピング (型押しあそび)

ウ 材料・準備するもの ・採集した木の葉 ・クレヨン、絵の具 ・画板、画用紙  
 ・水入れバケツ、パレット、筆 ・新聞紙、ぬれたぞうきん

エ 活動の展開

幼児の活動	教師の支援・手だて	幼児の姿
①園庭の木の葉っぱを集める。	☆葉っぱのでこぼこしたものを選ばせる。	・葉っぱの両面を触り確認し、葉脈のはっきりしたものを選んでいいる。
②葉っぱを画用紙の上にいろいろな形に置く。	☆いろいろ葉っぱの置き方を変えてイメージさせる。	・画用紙に葉っぱを置いて形をイメージしている。葉っぱに色づけをしてペタペタ型押しを楽しむ様子もみられた。
③葉っぱの裏を確認しながら絵の具を塗る。	☆葉っぱの裏表や絵の具の濃淡に気づかせる。	・形がきれいに写らないので何度も試している。
④手でしっかり圧をかけて押さえる。	☆葉っぱにしっかり絵の具を塗り両手で形がでるように押さえさせる。	・手型押しは手の平に塗った絵の具の感触を楽しむ姿がみられた。
⑤手型押しをする。		

オ 活動の様子

写真3 葉っぱの置き方を工夫したY子



・型押しをした葉っぱの形と色を組み合わせ「ウサギ」表現している。

・ペタペタと葉っぱや手形の型押しを楽しむ姿がみられた。

写真4 型押しを楽しむA夫



カ 考察

身近な素材(木の葉っぱ)と個人の絵の具を使って、型押し遊びを試みた。絵の具の濃淡や素材の選び方に気づかせるようにした。いろいろな形の組み合わせをしたり葉っぱの色がうまくでない子は手型押しを楽しむ様子が見られた。型押し遊びはスタンプのおもしろさに喜んでかかわっていた。

(2) 身近な素材と教材の組み合わせ（作業仮説2の検証）

作業仮説2 クレヨンや絵の具などの教材と身近な素材を組み合わせることで、色や形の変化を楽しみ、興味をもって活動するであろう。

① 活動計画

期日	活動名	活動のねらい
11/18	遠足の体験画を描く	・遠足で子ども達が印象に残ったことをイメージし、のびのびと絵を描く。
11/20	型押し・色塗り	・遠足の絵の線で描いたところや背景を絵の具・いろいろな素材を使い仕上げをする。

② 題材 遠足の絵 「こどもの国」

③ ねらい 遠足の絵をいろいろな素材を使い楽しく描く。

④ 活動の展開

幼児の活動	教師の支援・手だて	幼児の姿
<p>①遠足で「こどもの国」へ行ったときの様子を話し合う。</p> <p>②絵が決まり次第画用紙を受け取り描き始める。</p> <p>③描き終えた絵に絵の具で色塗りをする。</p> <p>④木の葉っぱや野菜のスタンプをする。</p>	<p>☆子ども達のイメージをださせるよに話しをする。</p> <p>☆描き出せない子にはイメージを膨らませるような話しをしたり、気持ちを受け止め描ききっかけをつくる。</p> <p>☆色塗り・型押しができるように素材や教材を準備する。 (木の葉っぱ、ニンジン、キャベツの芯)を準備する</p>	<p>・印象に残った様子を話し、それぞれの思いを表現している。</p> <p>・動物やバスに乗っているなどの絵を描き始める。</p> <p>・イメージ通りに描き出せずに画用紙を取り替えたり、なかなか描き出せずに友達絵を見ている子の姿がみられた。</p> <p>・いろいろな素材を使い楽しむ様子が見られた。絵の具と素材を重ねて工夫している子もいる。</p>

⑤ 活動の様子

写真5 遠足の絵にスタンプをする工夫



・のびのびと「大型バス」の絵を描いた周りに星形模様のスタンプを楽しそうに押ししている。友達の絵を見ながら型押しの順番を待っている子の姿もみられた。

写真6 ヒヨコと触れあった様子のR子の絵



・クレヨンと絵の具で使い色塗りをして型押し・スタンプに加筆を施し工夫をしている様子が見られた。

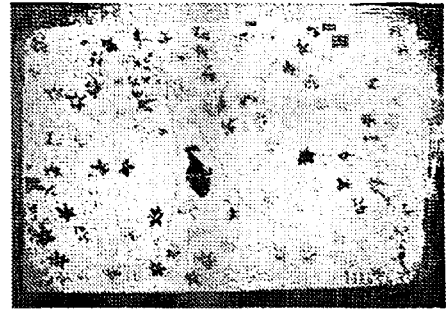
写真7 キリンの絵を描くS君



写真8 仕上がったキリンの絵



写真9 スタンプで描いた絵



・なかなか描き出せなかったS君は友達の絵を見ながら描き始めた。自分が乗れるくらいのキリンを描きたいS君は画用紙を継ぎ足して大きく描いた。

・線で描いたところに絵の具で色を塗ったり木の部分に葉っぱで型押しをして、素材をうまく使い工夫している様子が見られた。

・絵で思うように表現できなかった子は、画用紙いっぱいスタンプを押して、満足している様子が見られた。

### ⑥ 考察

写真10 友達と動物を見ている様子を描いた、M子とR子の作品



・イメージを膨らませながらすぐ描き始める子、なかなか描き出せない子、友達の絵の真似をしながら描く子、自分の思い通りに描けず何度も画用紙を取り替える子、ゆっくり時間をかけて描く子など様々な姿が見られた。絵の描き出せない子には、友達の絵を見せたりイメージのもてるような援助をしていくことで動物の絵や友達と観ている様子をのびのびと描くことができた。

・子ども達は、絵の線描きの部分に絵の具を塗ったり、花の茎と葉っぱをクレヨンで描き足して、木の葉には葉っぱの型押しをして自然な感じをだしていろいろ工夫をしていた。


・子ども達は、一人一人身近な素材で型押しを楽しみいろいろな形を工夫することで、活動にも興味を持ったのではないかと考える。

(3) グループでの取り組み（作業仮説3の実践） 検証授業

作業仮説3 これまで経験した技法遊びを、グループで取り組むことで話し合ったり、教え合ったりしながら作品を完成させ、満足感が得られるであろう。

① 保育展開

日 時	平成15年12月12日（金） 9:30～10:45		
対 象	浦添幼稚園 あおぞら組（年長児） 男児16名 女児20名 計36名	主 題	友達と遊んでいる絵を描こう
ねらい	友達といっしょに絵を描くことを楽しみ、いろいろな素材を使って型押しや色塗りをし て作品を仕上げる。		
題 材 設 定 理 由	子ども達は園庭で体を動かして遊ぶことが大好きである。友達を誘って固定遊具や運 動遊びを楽しむ姿がみられる。友達とのびのび遊ぶ生活の体験画を、友達といっしょに 描くことを活動にり入れることにした。しかし絵の苦手な子には、絵を描くことは重荷 になっているだろうと思われる。描画活動に抵抗なくかかわれるように、子ども達の興 味を持つような素材や教材を準備し、デカルコマニ（合わせ絵）一やペタペタ押して遊 べるスタンピング（型押し）を活動に取り入れることで、友達といっしょに絵を描く活 動にも、楽しく取り組めるのではないかと思い本題材を取り入れた。		
子 ど も の 姿	○デカルコマニーでは興味を持ってかかわる姿がみられた。 ○友達といっしょに木の葉っぱを集めて、活動では素材を譲り合ったり教え合う様子が みられた。 ○活動の話し合いでは、意見を発表したり自主的にグループを決めて行動することでき る。 ○グループ活動では友達と相談しながら進めることができるが、集団の中で落ち着いて 話しを聞けない子もいる。 ○型押しでは、いろいろな素材に興味を持ち描いた絵の中で、試したり工夫する様子が みられた。		
授 業 仮 説	① 子ども達の興味をもつような素材を準備することで、喜んで試したり工夫する姿が みられるであろう。 ② いろいろな素材や教材を使って、友達といっしょに絵を描いたりいろいろな技法を 取り入れた作品をしあげることで、満足した気持ちが得られるであろう。		

準備する物	<ul style="list-style-type: none"> <li>・素材 木の葉っぱ</li> <li>野菜のスタンプ</li> <li>その他</li> </ul>
	
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教材（絵の具、筆、パレット、水入れバケツ、クレヨン、マーカー、色鉛筆、スポンジ、はさみ、のり、画用紙の全紙 めれぞうきん）</li> </ul>

② 展開

時間	幼児の活動	◎ 教師の援助 ☆ 環境構成									
9:00  9:25  9:30	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつをする</li> <li>・所持品の始末</li> <li>・排泄をすませる</li> <li>○ 集合する</li> <li>・うたをうたう</li> <li>「花咲山」</li> <li>・出欠を確認する</li> <li>・日程を説明する</li> <li>○ 2階ホールへ移動</li> <li>・素材・教材の使い方の再確認</li> </ul> <p>「技法の種類」</p> <p>デカルコマニー (あわせ絵)</p> <p>スタンプング (型押し)</p> <p>フロッタージュ (こすりだし)</p> <p>はじき絵</p>	<p>◎みんなで元気に歌をうたい和やかな雰囲気スタートできるようにする。</p> <p>◎活動に取り組む前に、素材や教材の使い方や作業方法の説明をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">舞 台</p> <hr/> <p style="text-align: center;">大型画用紙6枚</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">アヒルと遊ぶ絵</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">素材コーナー</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">ブランコ、フープ遊ぶ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">スクーターで遊ぶ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">素材コーナー</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">木登りで遊ぶ</td> </tr> <tr> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">竹馬、なわとびで遊ぶ</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">素材コーナー</td> <td style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">砂場で遊ぶ</td> </tr> </table> </div> <p style="text-align: center;">図 保育室内の配置</p> <p>☆素材・教材は活動がスムーズに取り組めるように配置する。</p> <p>☆素材は木の葉っぱ、野菜（ニンジン・大根・ピーマンちんげんさいの根など）廃品を利用し準備する。</p> <p>☆グループに分かれて作業が始められるように、大型</p>	アヒルと遊ぶ絵	素材コーナー	ブランコ、フープ遊ぶ	スクーターで遊ぶ	素材コーナー	木登りで遊ぶ	竹馬、なわとびで遊ぶ	素材コーナー	砂場で遊ぶ
アヒルと遊ぶ絵	素材コーナー	ブランコ、フープ遊ぶ									
スクーターで遊ぶ	素材コーナー	木登りで遊ぶ									
竹馬、なわとびで遊ぶ	素材コーナー	砂場で遊ぶ									

10:30	○片付けをする	<p>画用紙を配置しておく。</p> <p>◎作業をするときはトラブルにならないように順番を待ったり譲り合って活動できるようにする。</p> <p>☆絵の具（個人用）やパレット・水入れバケツ・筆は廊下に準備し、必要に応じて使うようにする。</p> <p>◎子ども達が材料を自分で選んだり、友達と相談して活動している様子を見守る。</p> <p>◎材料の使い方に戸惑っていたり、イメージが上手くだせない子には援助するようにし、また同じグループの子にもいっしょに手助けするよう働きかける。</p> <p>◎絵の描き終わったグループは、周りを片づけるように声かけをする。</p> <p>☆描き終えた作品は壁に貼る。</p>
10:45	○集合する ・グループで座る ・話し合いをする	◎グループで描いた絵を鑑賞し合い、友達と工夫したところや子ども達がそれぞれ楽しくできたところを話し合う。

③ 評価の観点

- ア グループの友達と協力して絵を描いていたか。
- イ いろいろな技法を活動に取り入れていたか。

④ 活動の様子

写真11 野菜のスタンプを絵に取り入れている



- ・コーナーに置かれた素材に興味深く見て回ったり、新しく取り入れた野菜のスタンプの素材を早く試したい様子が見られた。
- ・野菜のスタンプは、星形・動物型がきれいでできるので子ども達は喜んで使っていた。



写真12 スタンプ絵の具をく組み合わせている



・木の幹を絵の具で色塗りをして葉っぱには木に葉っぱの型押しを使い、クレヨンと絵の具の組み合わせを工夫していた。

抽出児の変容

写真13 (友達の絵をじっと見ているS君)



友達の絵を真似て描きだしたがなかなか思い通りに描けないS男の様子がみられた。

何度か描く場所を変えて竹馬の絵を描いたS男の顔には、最後まで描き終えたことで満足した表情をしていた。

写真14 相談しながらスタンプを押している



写真15 ぶらんこの絵を描いたグループ



・グループで絵を描きあげるとお互いに選んで、いろいろな素材のスタンプを、背景や周りにどう組み合わせようか相談したりイメージを出し合う姿が見られた。

## ⑤ 考察

### ア 授業仮説①より

葉っぱの葉脈や他のスタンプがきれいにできた子は花型のスタンプにクレヨンで加筆して工夫されているところがみられ楽しく発展させられていた。うまくできない子は何度も試している様子がみられ、きれいに形ができたときは満足そうにしていた。

技法遊びは作品を気にせずでてくる色や形で遊ぶことができることで、子ども達は喜んで取り組んでいた。

### イ 作業仮説3より

・イメージが浮かばずに迷っている子にとって、グループで絵を描くことは友達の絵を真似して描く安心感が得られ、周りにいる子ども達もお互いの絵を見せ合うことで刺激になったりいっしょに活動をする喜びにもなるように思われる。これまで経験した技法（デカルコマニー・野菜・木の葉っぱの型押し）を、うまく作品の中に取り入れていた。友達といっしょに同じ課題に、最後まで取り組む姿がみられ、絵や素材の工夫したところを友達に認められたことに喜んでいる様子がみられた。

・素材を豊富に準備したことで、子ども達はいろいろな技法を作品に取り入れ、友達と相談しながら活動を展開することができた。

・本実践では、子ども達がのびのびと表現できるような環境の工夫をしたことで、様々な技法遊びを取り入れ工夫する様子がみられた。グループで活動に、楽しくかかわることができ、作品を完成したことで満足感が得られたと考える。

## Ⅷ 研究の成果と課題

たことが子ども達の活動の意欲を高めた。

### 1 成果

- デカルコマニー、型押し、こすりだしなどの技法遊びに身近な素材を取り入れたことは子ども達が開放感に浸って、色と線や形で自由に画面に表現することができ、活動にも喜んで取り組んでいた。
- 身近にある素材を使って、技法を取り入れたことは、自分なりに工夫したり試したりでき子ども達の興味を誘い、楽しく活動することができた。
- 子ども達は、活動の体験画のイメージを膨らませのびのびと描くことができた。
- グループで取り組む活動では、友達といっしょに一つの目標に向けて絵を完成させた喜びを感じていた。
- 場の設定や豊富な素材などの環境を構成し

### 2 課題

- 幼児の発達段階や時期に合わせた技法遊びの活動計画の作成
- 子ども達の興味を持つような素材、教材の研究をさらに高める開発
- 子ども達が、自信を持って表現できる援助のあり方

### おわりに

「幼児が楽しく描画表現するためには」というテーマで研究をすすめてきました。絵を描かせるための手段ばかりを考えていましたが文献による理論研究の中で技法遊びが目にとまりました。様々な方法のある中で子ども達の興味をもつようなものを活動を取り入れ実践しました。楽しそうに取り組む子ども達の様子を見ると、素材や教

材の工夫をし、活動させることが、いかに大切かを改めて知らされました。今後も技法遊びの実践を、保育の中に生かしていきたいと思えます。

最後になりましたが、研修期間中励ましご指導下さいました浦添市教育委員会の知念敏江指導主事、神森幼稚園副園長の名嘉房江先生、宮城幼稚園の仲里紀美子先生、本研究所の大城所長、當関係長、山里主事、御助言を心より感謝申し上げます。そして、研究所の職員の皆様には、大変お世話になりました。更に研究所での研修に快く送り出し、支えて下さった浦添幼稚園の玉城きみ子園長と職員の皆様、この半年間の研修を共に支え合い乗り越えてきた研究員の仲間に厚くお礼申し上げます。

【主な引用・参考文献】

- ・文部省 「幼稚園教育要領解説」平成11年度
- ・岸井勇雄・小林龍雄・高城義太郎・  
「表現Ⅲ 造形的表現」
- ・村内哲二 編著  
保育内容「造形表現の指導」
- ・監修 鯉坂二夫 <理論編>花篤寛・岡一夫  
「幼児教育法 絵画制作・造形」
- ・黒川建一 編著  
「新・幼稚園教育要領、表現」
- ・文部省小学校課・幼稚園課編集 9月号  
「初等教育資料」